



地元人材育成分科会（担当大学：金沢大学）

2024年度 キャリアアップ・スキルアップ プログラムのご案内



1. プログラムの概要

北陸未来共創フォーラム地元人材育成分科会における地元人材のキャリアアップ・スキルアップ支援を目的として、データ活用に関する理解促進、能登復興等の地域活性化政策の検討プログラムを実施します

1) ウェルビーイングに関するデータ活用理解促進

全5回のプログラムを通じてウェルビーイング指標に基づくデータ分析・活用に関するコンサルタントの伴走により、**データ活用に関する理解醸成**を促進します

2) 地域活性化の企画スキル習得、官民コミュニティ形成

ウェルビーイング指標に関するデータを活用し**地域活性化や能登復興に関する施策検討**を通じて**企画スキル・ノウハウ**を習得できます。併せて、プログラムを通じた**官民でのコミュニティ形成**を促進します



3) 官民でのエリア・データ連携基盤の活用促進

自治体において整備が進められている「エリア・データ連携基盤」に対し、**官民による地域課題解決に必要なオープンデータの検討や自治体への提言**をおこなうことができ、地域のデータ活用を促進します

対象者）企業・自治体におけるデータ活用を推進／牽引する実務担当者

2. プログラム内容（予定）

- ・期間、回数等：2024年10月～2025年2月における下表の日程（全5回）
時間：19:00-20:30（詳細については別途ご案内します）
- ・会場：金沢学生のまち市民交流館（住所 金沢市片町2丁目5番17号）
- ・講師：金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 篠田 隆行
NTT西日本（地域創生Coデザイン研究所） 渋谷 勝也
- ・募集人数：20名程度（各社・団体：1-2名程度）
- ・費用：無料
- ・参加条件：北陸未来共創フォーラム会員企業・団体、自治体職員、本プログラムに関心のある大学生
- ・参加方法：裏面の問い合わせ先宛に、お申込みください（2024年9月18日（水）〆切）

<カリキュラム（予定）>

Day	開催日（予定）	タイトル	学習の概要
1	10/9(水)	ウェルビーイング指標の理解	石川県、県内地域における客観指標の理解
2	10/30(水)	基本的なデータ分析スキルの習得	主観指標分析、相関分析等の体験、習得
3	11/20(水)	データ・フレームワークを用いた政策検討プロセスの習得	ロジックツリー、統合マップ等の作成、習得
4	1/15(水)		ロジックモデル、スコアカード等の作成、習得
5	2/12(水)	地域課題解決に向けた施策提言	財界（経営層）、自治体（首長）への施策提言

主催：北陸未来共創フォーラム 地元人材育成分科会
（地元人材のキャリアアップ・スキルアップ支援WG）



3. ご参加メリット

● 習得いただけるスキル

メリット1) データ活用及び政策企画立案できる人材育成

- ・ウェルビーイング指標やデータ分析手法に関する知識を獲得し、自らの地域での導入に向けた基本的な意見やスタンスを持てるようになる
- ・ロジックツリーやロジックモデルを使い、幸福感や生活満足度を高めるための企画立案、政策デザインができるようになる



メリット2) 専門家伴走による施策提言の支援

ウェルビーイング指標に関するデータ活用、施策提言プロセスに関する専門的な知見を有するコンサルタントによる、伴走支援・情報提供等を受けられます

メリット3) 地域間における人脈拡大（コミュニティ形成）

他民間事業者、自治体職員の皆さまとのグループワークやディスカッションを通じ、人脈拡大（コミュニティ形成）が期待できます

メリット4) データ活用に関するニーズの反映

国（デジタル庁）が推進する「データ連携基盤」にて提供される地域データ（自治体オープンデータ）の理解促進と、民間事業者が必要とするデータについて自治体への提言をおこなうことができます

<参考情報> ウェルビーイング指標・データ活用に関する取組み

● A市の事例（ウェルビーイング指標を活用したワークショップ）



<実施概要>

- ・行政職員、地元高校生、地域おこし協力隊のメンバーにてウェルビーイング指標を活用したワークショップ、事業立案を実施

<参加者の声>

- ・今までに知らない地域の良さ・強みについて気づくことができた
- ・地域住民の意見が行政施策に反映され、まちづくりへの参画意識が高まった

● B県の事例（データ活用ブートキャンプ）



<実施概要>

- ・BIツール（tableau）等を活用したデータの分析・活用スキル研修を実施。企業や地域における課題を設定し、データ分析により立案した改善プラン等を発表

<参加者の声>

- ・データ活用に伴う人材育成のヒントになった
- ・この出会いから他社の方と新たな連携も探索できた

4. お申込み・お問合せ

お問合せ

金沢大学
先端科学・社会共創推進機構
北陸未来共創フォーラム事務局

E-mail venture@adm.Kanazawa-u.ac.jp

お申込み

右記QRコードからアクセスください
※申込フォームはフォームズ株式会社のサービスを利用しています。



申込期限 2024年9月18日（水）

※定員に達した場合、お申し込みをお断りすることがあります。ご了承ください。